

ビジネスインパクト 分科会の活動

2008年4月9日

特定非営利活動法人 事業継続推進機構 (BCAO)

ビジネスインパクト分科会

※ 本資料の文責は分科会にあり、BCAO全体の見解ではありません。

活動の概要

◆体制

- アクティブメンバー：約20人
- 座長：木根原、副座長：植山、前田

◆活動

- ほぼ毎月、分科会を開催
- 他分科会との意見交流会を開催

◆成果

- 平成18年度
B I A + 事業継続戦略の検討イメージ（例）を作成
- 平成19年度
業種ごと・災害ごとの留意点を加え小冊子（案）を作成

小冊子の概要

◆中身

- **ビジネスインパクト分析と事業継続戦略の検討イメージ例**

◆位置付け

- **分科会有志による報告資料**
 - **メンバー有志が資料を持ち寄って作成**
 - **標準的なものではなく、ヒント集**
-
- **現在、標準化分科会等と調整しつつ中身を精査中**

小冊子の目次

はじめに

- 1 **ビジネスインパクト分析と事業継続戦略**
- 2 **検討フローと検討イメージの例**
 - (1) **重要業務を選定する**
 - (2) **重要な要素・資源を抽出する**
 - (3) **目標復旧時間を決定する**
 - (4) **事業継続戦略を検討・決定する**
 - (5) **事業継続戦略を具体化する**
- 3 **業種ごとの留意点**
- 4 **災害ごとの留意点**
- 5 **チェックシート**
- 6 **参考資料**

ビジネスインパクト分析と事業継続戦略

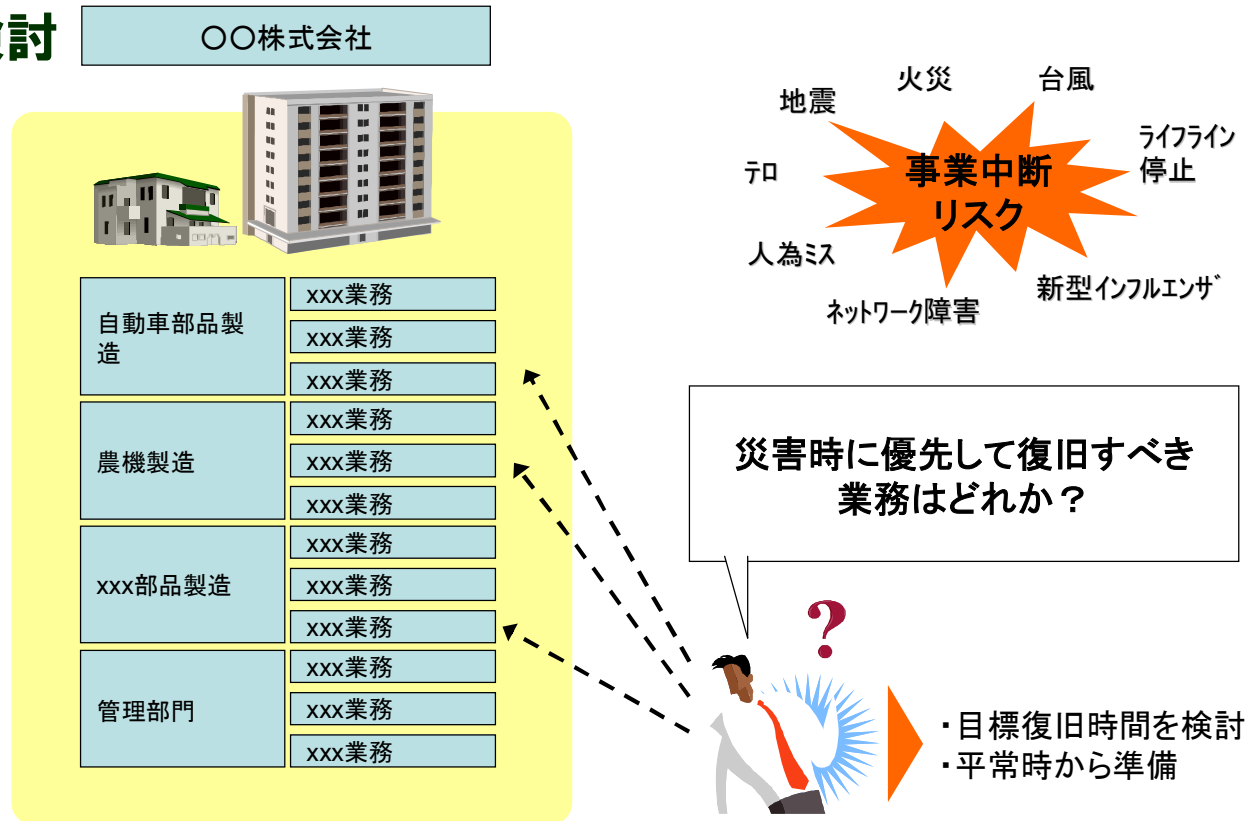
◆ ビジネスインパクト分析

- 重要業務の選定
- 重要な要素・資源の把握
- 目標復旧時間等の検討

〇〇株式会社

◆ 事業継続戦略

- 代替／復旧手段の検討・決定
- 戦略の具体化



重要業務を選定する

- ◆重要性を評価する視点を持つ
- ◆業務を整理する
- ◆重要業務を選定する

特定の視点	例
○人命にかかわる	エレベータ閉じ込め救出
○法令等の遵守	法律、各種ガイドライン
○ステークホルダーへ大きな影響を与える	取引先への代金支払い
○会社の評判を左右	食品会社での品質維持
○利益・売上が大きい	生産ラインの維持

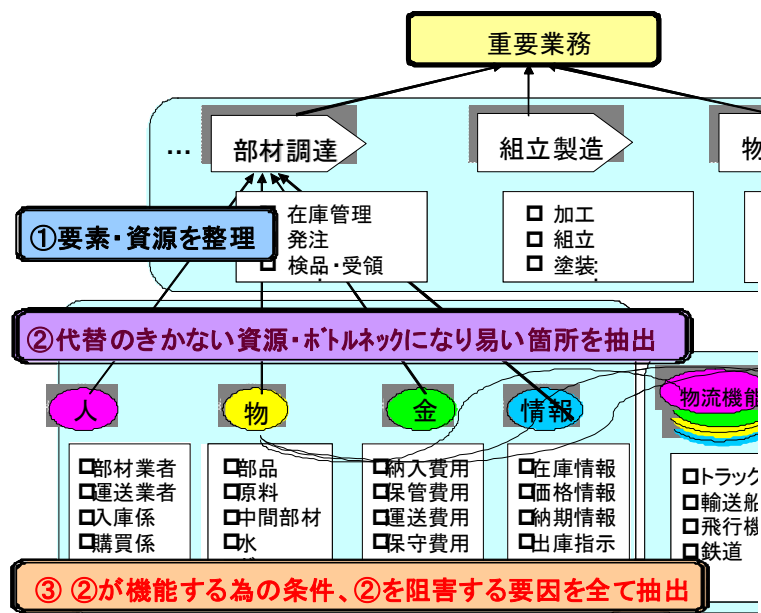
我が社では何が重要か。社会から何を期待されているか。



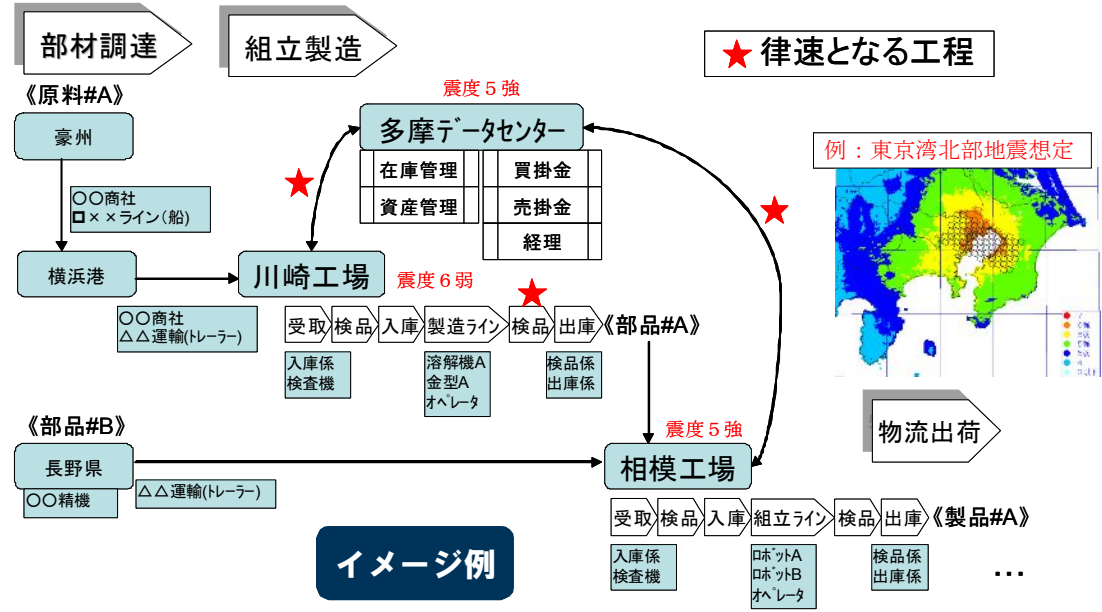
重要な要素・資源を抽出する

◆重要業務に必要な要素・資源を整理する

◆重要な要素・資源を抽出する

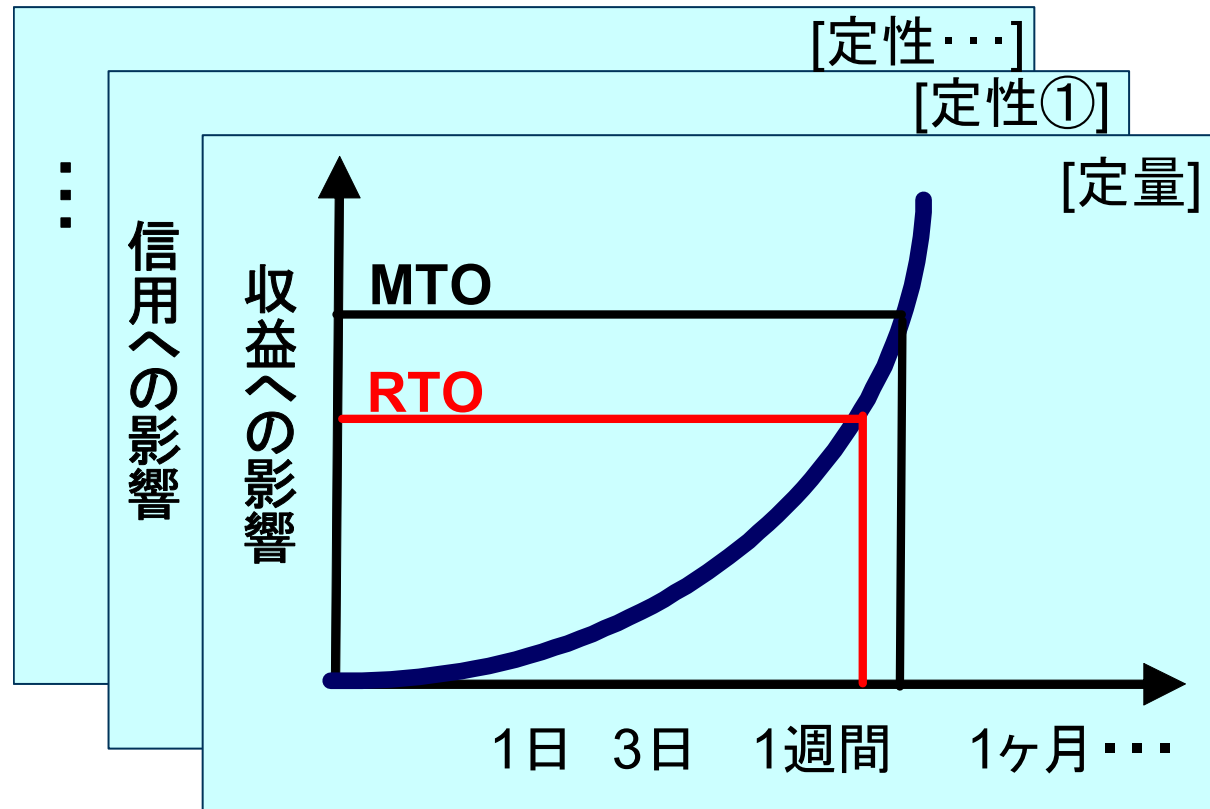


イメージ例



目標復旧時間を決定する

- ◆重要業務中断時の影響を評価する
- ◆目標復旧時間を決定する

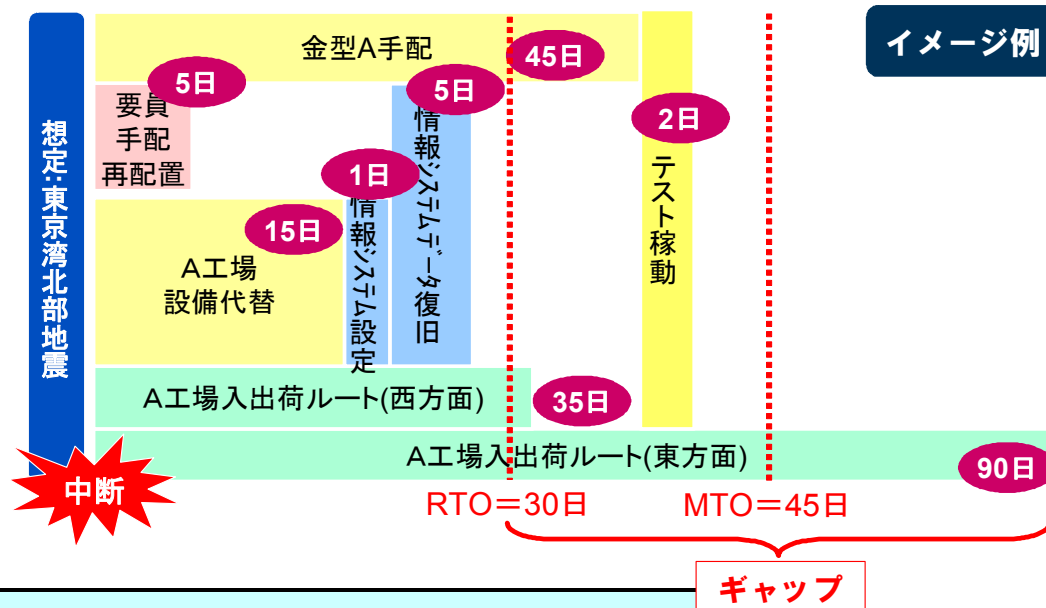


MTO:
許容中断期間
Maximum
Tolerable
Outage

RTO:
目標復旧時間
Recovery
Time
Objective

事業継続戦略を検討・決定する

- ◆ 対策の考え方を整理する
- ◆ 復旧時間を予測する



時間	対策の考え方(例)
0時間	同時被災しない2箇所以上に代替要員と設備を確保しておく
3時間	要員が事業所周辺に住み、災害発生時には緊急参集
1日	徒歩等参集可能な要員にて事業継続・復旧にあたる
3日	業務に必要な事業資源(要員の食料等を含む)を備蓄
1週間	応援要員や代替設備、代替輸送手段などを確保しておく
1ヶ月	設備の修理、ライフラインや交通機関の復旧にあわせて業務復旧

※ 本資料の文責は分科会にあり、BCAO全体の見解ではありません。

事業継続戦略を具体化する

◆復旧プロセスを立案する

◆代替／事前対策を評価・決定する

区分	項目	対策内容	対策効果			制約条件		採否
			復旧時間		信頼性	社会性	費用 (百万円)	
			現	対策後				
ヒト	...							
モノ	建物	免震化	3ヶ月	0日	高	○	100	×
		耐震補強		7日	中	○	20	○
	原材料	在庫増量	15日	3日	高	○	20	×
		代替調達先の確保		7日	中	△商モラル	2	○
	出庫システム	社員による代替	15日	5日	中	×過労	0	×
		荷役会社との協定		5日	中	○	5	○
	製品搬送 (危険物)	一般車両での搬送	10日	7日	中	×違法	0	×
		運送会社との協定		7日	中	○	3	○
カネ	...							
情報	...							

※ 本資料の文責は分科会にあり、BCAO全体の見解ではありません。

業種ごとの留意点

- ◆ 業種によって、企業とステークホルダー(取引先をはじめ全ての利害関係者)との関係は異なる。
- ◆ 重要業務の選定や目標復旧時間の決定は、ステークホルダーの要求や行動に大きく左右される。

区分	業種の例
①災害時の事業継続は、サプライチェーンにおける自社の位置付けで決まる	製造業
②災害時、即座に普段以上の活動が要請される	建設業、損害保険業 医療機関
③事業を継続するかどうかは、顧客の被災状況に大きく左右される	小売業

※ 本資料の文責は分科会にあり、BCAO全体の見解ではありません。

業種ごとの留意点

◆ 建設業における重要な要素・資源(例)

➤ (社)日本建設業団体連合会「建設BCPガイドライン」を元に作成

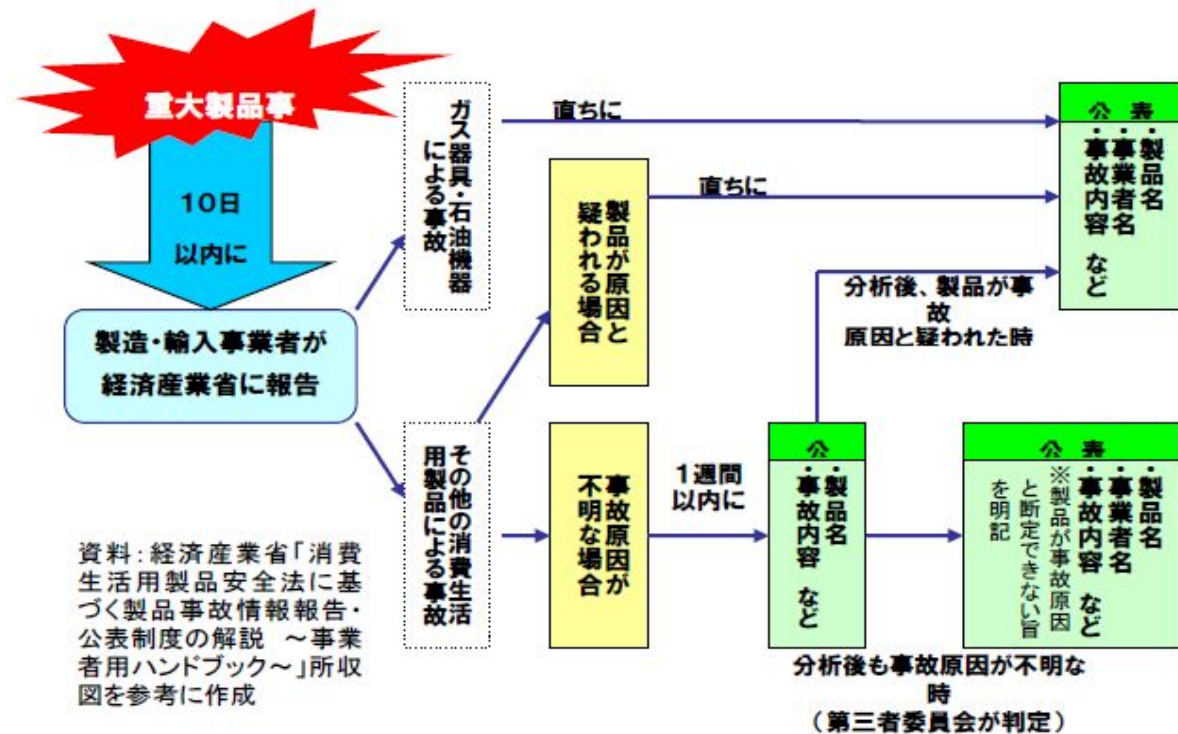
No.	重要な要素	内容
(1)	協力会社との連携	労働力、資機材の調達ができなくなると、業務がストップする(ゼネコン単独では事業継続が出来ない)
(2)	資機材メーカー等との連携	工事の施工には、鋼材・セメントなどの資材や建設重機などの機材の確保・調達が不可欠である。
(3)	輸送手段、インフラ等の状況把握	被災直後は、通常の運搬方法は使えない可能性が高い。輸送ルート・輸送手段を早急に確保することが必要。
(4)	移動手段の確保	施工中現場への移動や、竣工物件の場所へ移動する手段が必要。通常の移動手段は使えない。
(5)	適切な応援部隊の編成と派遣	応援部隊の編成は、被災現場等のニーズに合わせた職種、規模、時期に行われる必要がある。
(6)	設計監理会社との連携	工事中断や再開に関し、スムーズな連携が必要。
(7)	仮置場・処分場等の確保	膨大な量の瓦礫処理のための置場が必要となる。

※ 本資料の文責は分科会にあり、BCAO全体の見解ではありません。

災害ごとの留意点

- ◆ BCPの原則は全ての災害に対応できること。
- ◆ 災害ごとの留意点を知っておく。(リスクアセスメント)
 - 地震災害
 - 風水害
 - 火災
 - 製品事故
 - 新型インフルエンザ

図表 官公庁への事故情報の報告・公表制度の流れ



※ 本資料の文責は分科会にあり、BCAO全体の見解ではありません。

特定非営利活動法人
事業継続推進機構
ビジネスインパクト分科会

A Specified Non-Profit Japanese Corporation
Business Continuity Advancement Organization (BCAO)